

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和2年度 第2回児童発達支援センター運営協議会
開 催 日 時	令和2年11月13日(金) 午後1時30分 開会、午後3時10分 閉会
開 催 場 所	健康福祉センター 3階 301会議室
議 長 氏 名	越智恵子
出席委員(者)氏名	越智恵子、早川等、植竹利之、細川大輔、野澤純子、池田拓、並木 範一、野口泰子、桂川泰典、上野菜津子、清水繁
欠席委員(者)氏名	茂木陽 新井真由美 関剛規 白木久美子
説明者の職氏名	副参事 中村正幸、主幹 忍足耕史
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長あいさつ 3 こども支援部次長あいさつ 4 委員自己紹介(前回欠席委員) 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 入間市児童発達支援センター事業の運営状況について (2) 新型コロナウイルス感染症対策下の支援について 6 その他 7 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	入間市児童発達支援センター 令和2年度事業の運営状況 新型コロナウイルス感染症対策下の支援について
事務局職員職氏名	【こども支援部】 次長 佐藤政史 【こども支援課】 課長 木下義幸、副参事 中村正幸 主幹 忍足耕史、副主幹 粕谷淳子 主査 加藤ゆかり、主任 雨間元良 【株式会社スペクトラムライフ】 代表取締役 桑野恵介
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項

1 下記の議題について事務局から説明し、審議を行った。

委員からの質疑については、事務局が回答した。

(1) 入間市児童発達支援センター事業の運営状況について

(2) 新型コロナウイルス感染症対策下の支援について

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
越智会長	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する) (あいさつ)
佐藤次長	(あいさつ)
野口委員	(自己紹介)
上野委員	(自己紹介)
事務局	これより議事の進行につきましては、越智会長が議長となり進行していただきますようお願いいたします。
越智会長	それでは議長を務めさせていただきます。 本日は11名の委員が出席していますので、入間市児童発達支援センター運営協議会条例第6条第2項の規定により本日の会議は成立しております。
越智会長	傍聴人がいましたら、入室をお願いします。
事務局	本日の会議につきましては、傍聴希望者はありませんでした。
越智会長	会議録の署名については出席者の中から名簿順で、今回は早川委員にお願いします。
早川委員	了承します。
越智会長	それではこれより議事に入ります。
事務局	まず議題(1)の入間市児童発達支援センター事業の運営状況について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1「入間市児童発達支援センター令和2年度事業の運営状況」を用いて説明
越智会長	説明の中にありました休日施設開放に協力しました。児童センター「アイクス」のおもちゃ図書館「ありんこ」の会員はおもちゃを借りてきてくれました。来場者は家族で気兼ねなくのびのびと活動できていました。子どもには適切な環境を用意することが大事だと思いました。保護者は不安でも相談の一步が出ない。ああいう場からつながると良いと思います。今後も協力していきたいです。
越智会長	それでは入間市児童発達支援センター令和2年度事業の運営状況についてご意見等ありましたらお願いします。
桂川委員	4P(2) 専門相談は施設向けの支援のコンサルテーションなのか、それとも親を対象としたものなのでしょうか。
事務局	専門相談の大半は親を対象としたものです。
桂川委員	対応事例に「不適切養育」との記載がありますが、保護者にとって相談は心理的なハードルがあるものです。悩んで相談に来ているので「不適切養育」は表現としてふさわしくなく、「養育の困難」等に改めるべきと思

発 言 者	発 言 内 容
並木委員	<p>います。</p> <p>休日相談会が形になり相談者が多くなったのは良いと思います。どのような相談があったか教えてください。</p>
事務局	<p>午前中は未就学が多く、午後は就学児童が多い印象でした。1～3歳は発達についての相談が主な内容で、施設に勧められて相談に来た方もおられました。就学児童は学校での様子についてのご相談でした。予約なしでの当日受付は2件でした。</p>
清水委員	<p>6ページ⑤中高生向け支援について、未定なのはなぜでしょうか。中高生の中には人との関わり方がわからない子が多いです。SST（ソーシャル・スキル・トレーニング）の体験は大事だと思います。</p>
事務局	<p>集団を対象にSSTの催しを行う想定で、専門の方に助言いただいたところ、個別に支援するやり方が実施しやすく、効果を発揮しやすいとのことでした。中高生からの相談に応じていく中で、個別のSSTなどの支援を受け皿にしていく方向で事業化を検討中です。</p>
池田委員	<p>18歳までの若者はSNSを使って夜間にコミュニケーションをしています。そういうところに支援する行政サービスが欠けています。大切な所だと思います。CLMについては、課題をリスト化した行動観察はとても良いと思います。日本社会事業大学の「子ども学園」では、支援者の効果的な言葉かけ、働きかけの記録をリスト化しています。成果につながったスモールステップを記録して親の期待に応じていきます。7ページの家族支援については、親は忙しくイライラしがちであり、アンガーマネジメントの場が必要です。また「支援」という言葉は使いすぎると上から目線となるきらいがあります。「サロン」とか「カフェ」といった言葉選びが必要だと思います。</p>
野澤委員	<p>保育所等訪問支援について利用が少ない背景について教えてください。</p> <p>中高生への支援が日本は遅れています。海外では日本でいう学童や児童館といったところに思春期を迎えた青年用のカフェがあり、そこに集まる中で語らいがあり、指導するお兄さんやお姉さんがいて、非行の防止・思春期の悩みの対応に役立っています。先ほど説明のあった個別のSSTは病院で行った方が良い成果が出るということがわかっています。ご検討いただけたらと思います。</p>
桑野代表	<p>保育所等訪問支援の利用が少ない理由について、私見を述べさせていただきます。この制度は、保護者が支給決定を受けて、事業者へ依頼して初めてスタートするサービスです。手続きが非常に煩雑で、親の熱意が必要ですが、熱心なご家庭なので、子どもは個性はあるものの比較的落ち着いています。また、親が希望しても園や学校が利用に同意するとは限りません。親のニーズからスタートして先生にもアプローチしていかなければなりません。先生にアドバイスを理解はしてもらえないものの、そのクラ</p>

発 言 者	発 言 内 容
野澤委員 早川委員	<p>スの中にもっと支援が必要な子どもがいることも多いです。巡回支援とセットにする等、上手く組み合わせる工夫が必要となる仕組みです。</p> <p>巡回支援とうまくリンクしながら利用できると良いと思います。</p> <p>始まったばかりの事業なので地道に粘り強くやっていくことが必要です。温かい目でお互い協力しながらやっていきたいと思っています。休日相談のニーズがあるのが良くわかりました。家族支援について特学や通級の保護者の横のつながりができるように支援を考えてくれていることはありがたいです。継続が大切なので改良を加えながら継続して行ってほしいです。</p> <p>前回の会議でういずのPR不足を指摘しましたが、職員の尽力のおかげで学校現場に浸透が図られてきています。さらに、さわやか相談員や養護教諭の集まりに出向いていただいて、ういずについてお話しをしていただくことで理解が深まり、何か変わってくる面があるのではないのでしょうか。</p>
植竹委員	<p>施設支援で専門の方の意見が聞ける機会は施設にとって貴重です。未来室から年2回来てくださいますが、それ以外に来られて支援方法や保護者へのアプローチの両面から話し合えたのは良かったです。この施設支援についてはまた申し込めるのかお聞きしたいです。</p>
事務局 上野委員	<p>施設からの相談は随時受け付けています。</p> <p>施設や学校からの相談依頼はどのくらいあるのでしょうか。また、オンライン相談支援の周知方法、対象者、対応職員、相談対応する時間帯を教えてくださいませんか。</p>
事務局	<p>相談件数集計表の件数に含まれますが、相談に至る経路は集計しておりません。オンライン相談の広報は市報12月1日号に記事を掲載し、市公式ホームページや学校等へのチラシ配布を行います。対象者は障害のある児童とその保護者等です。ういずの市職員と専門相談員が、相談窓口を開設している時間及び時間外相談で対応します。</p>
並木委員	<p>健康福祉センター内で地域保健課が行う「発育発達相談」があります。その中で医師から療育の利用が必要と判断された親に対し、地域保健課の職員はりぼんへの相談を紹介しているようですが、同じ健康福祉センター内なので、そのままういずに相談したほうが親の負担は少ないのではないのでしょうか。「発育発達相談」とういずの相談支援のつながりはどうなっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>「発育発達相談」で通所サービスの利用を希望するところまで相談が進み、計画相談が必要となった方について、元気キッズの利用を希望する方はういずを紹介し、元気キッズ以外の事業所の利用を希望する方はりぼんを紹介しています。</p> <p>児童発達支援センターはサービス利用に伴う計画相談を作成する活動よりも地域の中核として事業所をバックアップする立場での活動が求められ</p>

発 言 者	発 言 内 容
並木委員	<p>ていると考えますので、ういずでは当面、元気キッズ利用者の利用計画を作成しています。</p>
事務局	<p>計画相談についての考え方は理解できますが、そもそも療育が必要なのか迷っている方の相談もりぼんに入っています。健康福祉センター内、行政内での連携促進に期待しています。</p>
越智会長	<p>ういずでは療育の利用を迷っている方やどこに相談してよいかわからない方の相談窓口ですので、そうした相談者はつないでいただけるよう調整したいと考えます。また、ういずから地域の相談支援事業所に計画相談を引き継ぐフローについても、今後、基幹相談支援センター、りぼん、相談支援事業所と調整したいと考えます。</p>
越智会長	<p>設置検討委員会の時から課題にあがっていた部分です。保育所等訪問支援と教育センターの巡回支援をどのように組み合わせていくかということも含め、温かい目で手を伸ばし合って事業がつながっていくと良いのではないのでしょうか。</p>
越智会長	<p>議題の2、新型コロナウイルス感染症対策下の支援について、事務局から説明してください。</p>
事務局	<p>資料2「新型コロナウイルス感染症対策下の支援について」を用いて説明。</p>
越智会長	<p>委員の皆さんの施設での対応はいかがでしょうか。植竹委員いかがですか。</p>
植竹委員	<p>色々行事がありますが、何でも中止にはできないと考えています。密にならないよう、クラスごとに分散して運動会等を行っています。保護者との個人面談や職員の打ち合わせも分散して密を避けながら工夫して行っています。</p>
細川委員	<p>毎日の検温、手指の消毒を徹底しています。最近、保護者の意識が薄れており、行事は縮小せず例年どおりの開催を望むご意見も出てきています。現状を理解してもらいながら進めています。</p>
越智会長	<p>並木委員のほうで、自立支援協議会や支援事業所等のコロナ対策は何か上がっているのでしょうか。</p>
並木委員	<p>緊急事態宣言中、事業所を利用できなかったご家庭の負担は大きかったと思います。宣言解除後に利用を再開できるようになって、ご家庭の負担が軽減され、利用者ご本人たちの様子も安定してきました。しかし感染予防対策は換気や消毒、検温などできることが限られてしまいます。感染者が発生すると事業所を休止することになり、利用者の不利益になってしまいますが、感覚過敏でマスクや消毒ができない方もおり、対応が難しいです。複数のサービスを利用されている方もいるようで、そういったことをなくすような対応を考えている事業所や保護者もおられます。</p>
越智会長	<p>元気キッズの状況について桑野代表から報告いただきたいと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
桑野代表	<p>スタッフの頑張りで順調です。意識が高いスタッフを採用できました。子どもの緊張は早くに取れ、保護者の笑顔が見られています。しかし、管理する立場から見ますとスタッフの負担が大きいです。元気キッズの利用児童は週1回から3回程度通所する子どもたちであるため、元気キッズの環境に慣れるまで時間がかかり、療育の効果が表れにくい面があります。長時間の預かりをする事業所では、毎日同じ集団が通所することが多く、環境に適応するための時間が短くてすむ点で状況が異なります。今年から児童単独通所を取り入れ、保護者に手伝っていただくことができなくなったためもありますが、新型コロナウイルス感染症対策で消毒作業に時間をとられ、指導後の記録、打ち合わせの時間を確保する余裕がありません。理念を共有して集まったスタッフなので大切に育てていきたいと考えています。</p>
越智会長	<p>桑野代表には設置検討委員会から熱意をもって取り組んでいただきました。また色々なことにご意見をいただき、より良いセンターになっていくことが一番なので、子どもの利益につながる体制を築いていきたいと思えます。</p> <p>それでは全ての議事が終わりましたので、議長の任を降りさせていただきます。活発なご意見ありがとうございました。</p>
司会	<p>越智会長、議長を務めていただきありがとうございます。続いて事務連絡に移ります。</p>
事務局	<p>委員への連絡方法についてのお願いです。軽微な連絡事項については、電子メールを活用し、時間、経費、資源を節減したいと考えております。なお、正式な通知は従来どおり書面をお送りさせていただきます。</p>
司会	<p>越智会長より閉会のごあいさつをお願いします。</p>
越智会長	<p>色々なご意見ありがとうございました。設置検討委員会の議論にもあった巡回支援と療育等の支援の関係や相談の場については、もっと考え方を柔軟にできると良いと思います。せっかくできたセンターなので、子どもたちがより良く利用できるように、親たちの道しるべがそこにできるように、気軽に相談できるセンターになってほしいと思っています。今日はみなさん、ありがとうございました。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 年 月 日

議 長 の 署 名

議長が指名した者の署名
